



# 「Catch Ball キャッチボール」

～地域に開かれた農場を目指して～

住所：〒014-0054 大仙市大曲金谷町 26 - 9  
 電話番号：0187-63-2257・Fax 0187-62-3434(大嶋農場・Fax 兼用 0187-68-2381)  
 URL：<http://www.daino-h.akita-pref.ed.jp>  
 \*農場便りに関するお問い合わせ農場経営部までご連絡下さい。

## 農場長(高橋寿徳先生)より

「一步前へ進もう」

平成26年度がスタートしました。在校生はそれぞれ進級し、新入生は初めての高校生活、しかも農業高校というこれまでの中学校生活とは違う専門的な学習に取り組むこととなります。農業高校に学んで、ただ漠然と高校生活を過ごすのでは農業という専門高校で学ぶ意味を発見できないで終わってしまうと思います。農業には常に新たな発見や変化・課題がたくさんあります。常に一步前を向き、農業の魅力を再発見しましょう。

ところで、農業高校を舞台とした映画「銀の匙」を見ましたか？。農林水産省、文部科学省の先生方も大絶賛しておられる様子でした。先日の山形での会議で東京農工大学名誉教授 千賀裕太郎先生が「『銀の匙』の映画が何故あそこまで人気があるのか。それは人間的だから。人間の成長のモデルが農業高校にある。農業高校の大切さが今こそ必要なとき。」と話しておられました。皆さんもご覧になってはいかがでしょうか。そして大農で学ぶことができる事を誇りに持ちたいものです。

## 水田部門

(担当者：藤井亨先生、高橋寿徳先生、佐々木尚人先生、黒田一久先生)

水田部門のスタッフが入れ替わりしました。どうぞよろしくお願いたします。現在までのところ順調に田植えに向けた準備が進められています。連休前に行われる播種に向けて種籾の浸種・催芽・初ほぐし、プール育苗ハウスの準備、本田の準備等、生徒とともに進めています。

部活動の稲作部としては、昨年からはじめた特別栽培米「大曲花火米」栽培を今年度も継続・発展して行う他、これまでの研究成果をまとめプロジェクト発表県大会出場に向けた準備を進めています。

田植えが近づき慌ただしくなってきましたが、収量・品質共に向上させるよう頑張ります！

「大曲花火米」の浸種



プール育苗ハウスの準備



## 果樹部門

(担当者：佐々木孝之先生、佐藤農先生)



折れたモモ



モモの新芽

(間もなく開花)

今年度の果樹部門は佐々木孝之、佐藤農が担当します。2年続けての豪雪に見舞われた大仙市、本校果樹園もそのダメージは大きく、リンゴ、ナシ、モモの枝折れに加え、今回もウサギに新芽を食害されました。捕獲用のかごも仕掛けましたが、被害を食い止めることはできませんでした。今年は樹木に忌避剤を塗布しなければならないのかとも思っています。

## 中家畜部門

(担当者：守屋拓先生、小林和成先生)

今年度の中家畜も小林、守屋でやっていきます。よろしくお願いたします。母豚3頭、子豚11頭(11月生)がいます。順調にいけば来月には出荷となります。また、早苗振りの豚汁用の豚でもあるので実習の際はおいしくなるように気持ちを込めて下さい。



## 大家畜部門

(担当者：佐々木惇先生、佐藤晴輝先生)

今年度、担当者が変わりました。

4月8日(火)に「だいのうさくら」が出荷されました。母牛の2頭が5月5日、29日の出産予定です。牛舎に来た際には、牛にも人にも声をかけて下さい。

## 食品加工 部門 (担当者：伊藤寿人先生、三嶋登忍先生)

平成26年度も食品加工部門よろしくお願いいたします。

今年度も生徒が実習で作った大農伝統のぶどう液「キャンベル」やリンゴジャム・ブドウジャム・ブルーベリージャム・オレンジマーマレードを販売します。

今月は本校のお米(あきたこまち)、美郷町の大豆(リュホウ)で仕込みをした「大農味噌」を製造しております。10月より校内販売所で販売いたします。

平成25年秋に秋田県産ぶどう「キャンベル」を手搾りし、半年かけて「おり」を取り除きます。平成26年5月より原液100%のぶどう液「キャンベル」が販売出来るようになります。写真は100%原液の製造の様子です。



## 野菜 部門 (担当者：古戸毅先生、小松万里子先生、富樫久雄先生)

平成26年度の野菜部門は小松、富樫、古戸が担当となります。どうかよろしくお願いいたします。校舎改築に伴い3月に育苗用ハウス群が撤去され、夏野菜苗の育成が不可能となりました。そのため本年度のトマト及びナス苗の販売はありません。どうかご了承下さい。

写真は昨年生徒がプランターで育てたまま収穫せずに放っておき、「とう立ち」させたハクサイです。茎が伸び、鮮やかな黄色の花を咲かせています。春にとう立ちしたハクサイは硬化する前に収穫し、「菜の花」として美味しくいただけることをご存じでしたか？



## 花卉 部門 (担当者：和泉有紗先生、山代和也先生)

今年度は和泉と山代が花卉部門を担当します。よろしくお願いいたします。

さて、花卉部門で最も忙しい時期を迎えました。花壇苗の鉢上げに専攻生が精を出してくれています。また、最近は晴天の日が続き、販売実習では色とりどりのペチュニアをはりきって売りに出かけています。完売させて帰ってくる生徒たちはとても嬉しそうです。写真はマリーゴールドの鉢上げ風景と販売用のペチュニアです。



## 小家畜 部門 (担当者：田口健一先生、佐藤晴輝先生)

今年度は田口、佐藤で運営していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

3月に導入した大びなが、4月に入り順調に卵を産んでくれています。販売実習や農業科学館に足を運んでいただいた際には、本校小家畜部門の卵をご購入してくださいませようお願いします。

今年度も新鮮で安全な卵を提供できるよう努力していきます。



## 生物工学 部門 (照井豊和先生、平塚祥広先生、大沼克彦先生、佐藤潤之介先生)

今年度も生物工学部門は変わらず4名で運営していきます。宜しくお願いします。

長い冬を越え、温室内は春真っ盛りです。本来は1月～3月がピークのコチョウランも抑制栽培(?)の成果で間もなく満開を迎えそうです。

世間の「お花見」と言えばソメイヨシノですが、家庭内でコチョウランやデンドロビウムを眺めながらお花見するのめいがかがでしょうか? ダイノードリームも開花間近です!

## 林業 部門 (担当者：照内之尊先生、三浦薫先生、守屋拓先生)

今年度も林業部門よろしくお願いいたします。担当は照内、三浦、守屋です。

校舎新築工事の第一段階として林業部門で使用していた育林実習室の解体工事が始まります。現在は、育林実習室内の農具や加工品の移動がほぼ終わり工事に向けての準備が終わろうとしています。